# 平成24年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年１月13日


上 場 会 社 名　　株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7829　　URL　http://www.samantha.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)寺田　和正
問合せ先責任者　(役職名)常務取締役　　(氏名)菅原　隆司　　(TEL)03(5412)8193

四半期報告書提出予定日　　平成24年１月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

## １．　平成24年２月期第３四半期の連結業績（平成23年３月１日～平成23年11月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年２月期第３四半期 | 22,258 | 5.4 | 453 | △24.9 | 422 | △22.3 | 266 | △23.7 |
| 23年２月期第３四半期 | 21,110 | 6.6 | 604 | 755.2 | 543 | ― | 349 | 106.9 |

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年２月期第３四半期 | 1,511 11 | ― |
| 23年２月期第３四半期 | 1,979 62 | 1,976.20 |

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年２月期第３四半期 | 20,692 | 9,332 | 40.1 | 46,986 86 |
| 23年２月期 | 19,691 | 9,376 | 42.3 | 47,193 65 |

（参考）　自己資本　　24年２月期第３四半期　　8,292百万円　　23年２月期　　8,328百万円

## ２．　配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年２月期 | ― | 800 00 | ― | 800 00 | 1,600 00 |
| 24年２月期 | ― | 800 00 | ― | | |
| 24年２月期(予想) | | | | 800 00 | 1,600 00 |

（注）　当四半期における配当予想の修正有無　：　無

## ３．　平成24年２月期の連結業績予想（平成23年３月１日～平成24年２月29日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 33,000 | 10.6 | 1,700 | 22.3 | 1,640 | 25.6 | 800 | 29.0 | 4,533 09 |

（注）　当四半期における業績予想の修正有無　：　無

## ４．　その他（詳細は、【添付資料】P. ５「その他」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

新規　―　社（　　）、除外　―　社（　　）

（注）　当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　無

（注）　「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年２月期３Ｑ | 176,480株 | 23年２月期 | 176,480株 |
| ②　期末自己株式数 | 24年２月期３Ｑ | ― 株 | 23年２月期 | ― 株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 24年２月期３Ｑ | 176,480株 | 23年２月期３Ｑ | 176,480株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）４ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．　その他の情報 …… 5
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 5
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 5
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 5
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 6
３．　四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書 …… 9
【第３四半期連結累計期間】 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……12
（５）セグメント情報 ……12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……13

## １．　当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により急激な落ち込みとなったものの、新興国の経済成長による輸出の増加や政府の経済政策効果により景気は緩やかに持ち直しつつあります。しかしながら、欧州の金融不安などによる世界景気の減速懸念や円高の長期化など、景気先行きへの不透明感が増す状況が続いております。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましても、個人所得の伸び悩みや雇用不安による個人消費の停滞、加えて東日本大震災の影響からくる消費マインドの更なる低下により当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などにより、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、全線開業した九州新幹線の「九州の玄関口」として今後注目を集めるＪＲ博多駅にグランドオープンしました「ＪＲ博多シティ」におけるグループ合計11店舗の出店をはじめ、全国主要都市への積極的な出店を行ってまいりました。また、アジア地域においては、台湾に６店舗、中国の上海に２店舗及び北京に１店舗、シンガポールに１店舗、韓国に３店舗の出店を行い海外戦略の推進を行ってまいりました。

プロモーション活動につきましては、昨年度に引き続き、人気ファッション誌とのコラボレーション企画や、「日本航空」との取り組みによるコラボレーション企画「JAL × Samantha Thavasa ジェット」の就航、そして「AKB48」の「板野友美」さんとのＣＭ放映などを行ってまいりました。さらに、「日本に元気と明るさを」をコンセプトとした新しいＣＭを、平成23年度より新たにプロモーションモデルとして加わったアメリカの人気女優兼ボーカリストの「テイラー・モムセン」さんや、日本の人気モデル「蛯原友里」さんなど、総勢７人のサマンサミューズの出演による豪華な内容で全国放映いたしております。

商品戦略につきましては、ＣＭをはじめとするプロモーション戦略と連動した話題性のある商品を展開してまいりました。また、「東京ディズニーシー」独自のファッションブランド「D’24」とのコラボレーション企画によるバッグや小物などのコラボレーションアイテムを販売いたしました。

また、「キヤノンマーケティングジャパン」が展開するデジタルカメラ「IXY 600F」においてコラボレーションを行い、シャンパンピンクのボディカラーや専用ストラップなどのプレミアム感の演出を企画いたしました。

さらに、当社の連結子会社でありますスタイライフ株式会社を通じ、ブランドブック「Samantha Thavasa 2011 Winter Collection」を発売し、掲載されている全アイテムを通販にて販売いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は222億58百万円(前年同期比5.4％増)、売上総利益は129億46百万円(前年同期比4.2％増)、営業利益は４億53百万円(前年同期比24.9％減)、経常利益は４億22百万円(前年同期比22.3％減)となりました。また、当第３四半期連結累計期間において、店舗閉鎖等による固定資産除却損などを含め３億83百万円を特別損失に計上したため、税金等調整前四半期純利益は41百万円(前年同期比92.4％減)、四半期純利益は２億66百万円(前年同期比23.7％減)となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

① ファッションブランドビジネス

バッグ部門においては新規出店30店舗(退店８店舗)、ジュエリー部門においては新規出店５店舗(退店３店舗)を行いました結果、バッグ部門・ジュエリー部門の売上高はそれぞれ、105億52百万円(前年同期比7.1%増)、13億97百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

アパレル部門においては、新規出店17店舗(退店３店舗)を行いました結果、売上高は33億円(前年同期比11.5%増)となりました。

この結果、その他部門の売上高８億70百万円を加えた当該事業セグメントの売上高(セグメント間取引相殺消去後)は161億21百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は７億68百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

② ファッションｅコマースビジネス

ファッションｅコマースビジネスにおいては、当社の連結子会社であるスタイライフ株式会社におきまして、ファッションＥＣサイト「Stylife」やＫＤＤＩ株式会社及び沖縄セルラー電話株式会社との共同運営サイト『au one Brand Garden』を中心にネット部門の売上が増収しましたが、Look!s部門(通販雑誌による通販事業)において、震災の影響により、収益が一時的に落ち込みました。

この結果、売上高(セグメント間取引相殺消去後)は61億37百万円(前年同期比2.9%増)、営業損失は３億10百万円(前年同期は13百万円の損失)となりました。

**（２）連結財政状態に関する定性的情報**

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は206億92百万円であり、前連結会計年度末と比較して10億１百万円増加しております。これは主に、商品及び製品が９億45百万円増加したこと等によるものであります。

総負債は113億60百万円であり、前連結会計年度末と比較して10億44百万円増加しております。これは主に、１年内返済予定の長期借入金が10億91百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が６億64百万円及び長期借入金が12億97百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は93億32百万円であり、前連結会計年度末と比較して43百万円減少しております。これは主に、利益剰余金が15百万円及び評価換算差額等合計が20百万円減少したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、５億32百万円減少し、29億71百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は４億円(前年同四半期は５億94百万円の資金の増加)となりました。この主な内訳は、減価償却費５億93百万円、固定資産除却損２億83百万円及び仕入債務の増加額６億46百万円円等の収入要因が、売上債権の増加額３億35百万円及びたな卸資産の増加額９億36百万円等の支出要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は７億73百万円(前年同四半期は４億74百万円の資金の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出３億66百万円及び無形固定資産の取得による

支出１億57百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は１億47百万円(前年同四半期は16億17百万円の資金の使用)となりました。この主な内訳は、長期借入れによる収入38億25百万円、長期借入金の返済による支出36億18百万円等によるものであります。

**（３）連結業績予想に関する定性的情報**

今後の見通しにつきましては、当社グループの目標であります「日本発の世界ブランドへ」「企業価値の向上」及び「新しいブランド事業モデルへのチャレンジ」を今後とも積極的に展開してまいります。

現時点において平成23年４月14日に公表いたしました平成24年２月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

## ２．その他の情報

### （１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### （２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### （３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（会計処理基準に関する事項の変更）

① 資産除去債務に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は８百万円、税金等調整前四半期純利益は67百万円それぞれ減少しております。

② 持分法に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年３月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年３月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③ 企業結合に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

（表示方法の変更）

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純

利益」の科目を表示しております。

**（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要**

該当事項はありません。

## ３． 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結会計期間末<br>（平成23年11月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成23年２月28日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,010,962 | 3,513,245 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,718,237 | 2,429,394 |
| 商品及び製品 | 6,579,381 | 5,633,867 |
| 仕掛品 | 24,413 | 31,952 |
| 原材料及び貯蔵品 | 180,461 | 181,505 |
| その他 | 1,621,744 | 1,411,566 |
| 貸倒引当金 | △1,875 | △2,176 |
| 流動資産合計 | 14,133,325 | 13,199,355 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,379,118 | 1,614,288 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 426,954 | 450,055 |
| その他 | 951,139 | 811,157 |
| 無形固定資産合計 | 1,378,094 | 1,261,212 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 2,043,358 | 2,033,168 |
| その他 | 1,763,592 | 1,588,548 |
| 貸倒引当金 | △4,698 | △4,889 |
| 投資その他の資産合計 | 3,802,251 | 3,616,827 |
| 固定資産合計 | 6,559,464 | 6,492,327 |
| 資産合計 | 20,692,790 | 19,691,683 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,359,849 | 1,695,186 |
| 短期借入金 | 1,400,000 | 1,600,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,722,000 | 2,813,003 |
| 未払法人税等 | 66,752 | 158,738 |
| 引当金 | 371,839 | 197,923 |
| その他 | 1,544,974 | 1,306,214 |
| 流動負債合計 | 7,465,416 | 7,771,065 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,595,400 | 2,297,640 |
| 引当金 | 26,818 | 29,285 |
| その他 | 272,442 | 217,273 |
| 固定負債合計 | 3,894,660 | 2,544,199 |
| 負債合計 | 11,360,077 | 10,315,264 |

(単位：千円)

| | 当第３四半期連結会計期間末<br>(平成23年11月30日) | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>(平成23年２月28日) |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,132,600 | 2,132,600 |
| 資本剰余金 | 2,252,600 | 2,252,600 |
| 利益剰余金 | 3,936,083 | 3,951,770 |
| 株主資本合計 | 8,321,283 | 8,336,970 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,066 | 4,386 |
| 為替換算調整勘定 | △27,975 | △12,620 |
| 評価・換算差額等合計 | △29,041 | △8,234 |
| 少数株主持分 | 1,040,471 | 1,047,683 |
| 純資産合計 | 9,332,712 | 9,376,419 |
| 負債純資産合計 | 20,692,790 | 19,691,683 |

## (2) 四半期連結損益計算書

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成22年３月１日<br>至　平成22年11月30日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成23年３月１日<br>至　平成23年11月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 21,110,705 | 22,258,447 |
| 売上原価 | 8,686,444 | 9,312,348 |
| 売上総利益 | 12,424,261 | 12,946,098 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,820,048 | 12,492,104 |
| 営業利益 | 604,212 | 453,993 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 820 | 679 |
| 受取配当金 | 125 | 37 |
| 為替差益 | － | 721 |
| 補助金収入 | 4,092 | 4,152 |
| その他 | 10,782 | 18,639 |
| 営業外収益合計 | 15,820 | 24,229 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 58,326 | 50,269 |
| 為替差損 | 14,932 | － |
| その他 | 3,098 | 5,491 |
| 営業外費用合計 | 76,358 | 55,760 |
| 経常利益 | 543,674 | 422,462 |
| 特別利益 | | |
| 償却債権取立益 | 30,000 | － |
| 投資有価証券売却益 | 179 | － |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,553 | － |
| 固定資産売却益 | － | 1,946 |
| 特別利益合計 | 31,733 | 1,946 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 16,647 | 283,433 |
| 投資有価証券評価損 | 9,154 | 854 |
| 投資有価証券売却損 | 8,114 | － |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | － | 58,928 |
| 持分変動損失 | － | 29,641 |
| 災害による損失 | － | 1,268 |
| 物流拠点移転費用 | － | 9,159 |
| 特別損失合計 | 33,916 | 383,286 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 541,491 | 41,122 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 42,193 | 68,068 |
| 法人税等調整額 | 169,542 | △91,411 |
| 法人税等合計 | 211,736 | △23,343 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | － | 64,466 |
| 少数株主損失（△） | △19,608 | △202,215 |
| 四半期純利益 | 349,363 | 266,681 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第３四半期連結累計期間<br>(自 平成22年３月１日<br>至 平成22年11月30日) | 当第３四半期連結累計期間<br>(自 平成23年３月１日<br>至 平成23年11月30日) |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 541,491 | 41,122 |
| 減価償却費 | 526,761 | 593,444 |
| のれん償却額 | 23,100 | 23,100 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △18,533 | △492 |
| 受取利息及び受取配当金 | △946 | △716 |
| 支払利息 | 58,326 | 50,269 |
| 持分法による投資損益（△は益） | 1,788 | 3,457 |
| 固定資産除却損 | 16,647 | 283,433 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | － | 58,928 |
| 持分変動損益（△は益） | － | 29,641 |
| 投資有価証券評価損益（△は益） | 9,154 | 854 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 18,002 | △335,087 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △894,145 | △936,930 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 166,068 | 646,735 |
| その他 | 219,890 | 119,169 |
| 小計 | 667,605 | 576,931 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,097 | 64 |
| 利息の支払額 | △62,925 | △55,532 |
| 法人税等の支払額 | △52,767 | △158,324 |
| 法人税等の還付額 | 41,410 | 37,238 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 594,419 | 400,379 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △9,077 | △39,081 |
| 定期預金の払戻による収入 | 139,062 | 9,077 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △302,454 | △366,069 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 483 | 2,183 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △189,061 | △157,942 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △5,000 | △4,500 |
| 子会社株式の取得による支出 | － | △9,790 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △105,172 | △88,453 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 54,201 | 71,697 |
| その他 | △57,156 | △190,507 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △474,175 | △773,384 |

(単位：千円)

| | 前第３四半期連結累計期間<br>(自　平成22年３月１日<br>至　平成22年11月30日) | 当第３四半期連結累計期間<br>(自　平成23年３月１日<br>至　平成23年11月30日) |
|---|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △204,338 | △200,000 |
| 長期借入れによる収入 | － | 3,825,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,022,239 | △3,618,243 |
| 社債の償還による支出 | △100,000 | － |
| 少数株主からの払込みによる収入 | － | 148,495 |
| 子会社の自己株式の処分による収入 | － | 35,400 |
| 配当金の支払額 | △284,858 | △288,998 |
| その他 | △6,137 | △49,087 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,617,573 | △147,433 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4,030 | △11,847 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △1,501,360 | △532,286 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,382,473 | 3,504,167 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,881,113 | 2,971,880 |

## （4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## （5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年３月１日　至　平成22年11月30日)

| | ファッション<br>ブランドビジネス<br>(千円) | ファッション<br>ｅコマースビジネス<br>(千円) | 計<br>(千円) | 消去又は全社<br>(千円) | 連結<br>(千円) |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 15,146,634 | 5,964,071 | 21,110,705 | ― | 21,110,705 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 6,705 | 199,108 | 205,813 | (205,813) | ― |
| 計 | 15,153,339 | 6,163,179 | 21,316,519 | (205,813) | 21,110,705 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 621,357 | △13,488 | 607,868 | (3,655) | 604,212 |

(注)１　事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

２　各区分の主な製品

ファッションブランドビジネス　・・・　バッグ・ジュエリー・アパレル等の企画・製造・販売

ファッションｅコマースビジネス　・・・　インターネット上のオンラインショップ運営サイトによる商品の販売及び携帯端末上のモバイルサイトにおける商品の販売及び有料コンテンツの提供等

３　事業の種類別セグメント名称の変更

第２四半期連結累計期間より、「インターネットビジネス」を「ファッションｅコマースビジネス」へとセグメント名称を変更しております。

なお、変更は名称でありますので、セグメント区分を変更したものではありません。

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年３月１日　至　平成22年11月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第３四半期連結累計期間(自　平成22年３月１日　至　平成22年11月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービスについての包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業活動を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ファッションブランドビジネス」「ファッションｅコマースビジネス」の２つを報告セ

グメントとしております。

「ファッションブランドビジネス」は、バッグ・ジュエリー・アパレル等の企画・製造・販売事業を行っております。「ファッションｅコマースビジネス」は、通販雑誌、インターネットショッピングサイト及びモバイルショッピングサイトによる衣料品を中心としたファッション関連商品の販売事業を行なっております。

２．　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年３月１日　至　平成23年11月30日)

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 調整額（注）１ | 四半期連結損益計算書計上額（注）２ |
|---|---|---|---|---|---|
| | ファッションブランドビジネス | ファッションｅコマースビジネス | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,121,197 | 6,137,250 | 22,258,447 | ― | 22,258,447 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 68,279 | ― | 68,279 | △68,279 | ― |
| 計 | 16,189,476 | 6,137,250 | 22,326,726 | △68,279 | 22,258,447 |
| セグメント利益又は損失（△） | 768,231 | △310,482 | 457,748 | △3,754 | 453,993 |

（注）　１　セグメント利益又は損失の調整額△3,754千円は、主にセグメント間取引消去であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

**（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。